

税を考える週間―税の大切さを学んで 税の作文・絵葉書・書道コンクール表彰

国税庁が主催する「税を考える週間(11月11日～17日)」の間、各官庁・団体などで募集した税の作文や絵はがき・書道コンクールの表彰が行われました。町内の各学校では国語や社会の教育科目の一つとして取り入れ、児童・生徒たちは税の理解を深めるとともに優良な成績を残し表彰されました(八雲町の八雲税務署長賞および最優秀賞のみ記載)。

【税に関する中学生の作文(国税庁・全国納税貯蓄組合連合会主催)】

八雲税務署管内100編(うち八雲町43編)応募
「八雲税務署長賞」大原良誠(八雲中3年)

【税の書道展(税を考える週間事業実行委員会主催)】
八雲町内491点
(うち小学生377点、中学生114点)応募

「八雲税務署長賞」

・小栗 楓さん(八雲小5年)

・平川 柚真さん(八雲中3年)

【税に関する絵はがきコンクール(公社)八雲地方法人會主催】

・八雲税務署管内10点(八雲町内4点)応募

「八雲税務署長賞」

「北海道法人會連合會女性部連絡協議會會會長賞」

・澤田 空さん(山崎小6年)



平成29年度における 八雲税務署管内の税務 署長納税表彰

11月15日(水)、八雲税務署において、税務署長納税表彰式がとり行われ、小笠原署長から八雲町の大久保建一さんに表彰状が授与されました。

大久保建一さんは、一般社団法人北海道法人會連合會青年部理事等を務め、多年にわたり、納税道義の高揚に顕著な功績をあげられました。

【参考】所属団体における役職名
一般社団法人北海道法人會連合會青年部 理事

公益社団法人八雲地方法人會理事

公益社団法人八雲地方法人會青年部會 部會長

八雲間稅會 常任理事



八雲町と株式会社ジェーシー・コムサとの包括連携協定締結 北海道新幹線新八雲(仮称)駅開業に向け、まちづくりの連携を強化

11月8日、ハーベスター八雲にて、株式会社ジェーシー・コムサと2030年度末に迫る北海道新幹線札幌延伸に伴う(仮)新八雲駅開業に向けた町のまちづくり施策への連携した取り組みをすすめるため包括連携協定を締結しました。協定を結んだ株式会社ジェーシー・コムサは、通算約30年浜松地区で「ハーベスター八雲」などを運営しており、同社のCEOである大河原毅氏(八雲町観光大使)が当時、日本ケンタッキーマー・フライド・チキン株式会社の社長として、実験農場および直営レストランを開設したものです。

現在まで、町では同会社とのまちづくり連携事業として、大河原CEOの出身大学である上智大学の学生との交流事業、今年6月には石破茂氏(元地方創生相など)や東京オリピック新国立競技場をデザインした隈研吾氏(建築家・東京大学教授)を招いたまちづくり講演会、ハーブ鶏記念碑の設置などが行われました。今後は、協定に基づき、八雲町の地域資源の発掘・商品化・販売促進・PRなどについて連携し取り組んでいく予定となっています。

